
【うた腐り】夜明け前【レントキ】

たかむら伊織

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【うた腐り】夜明け前【レントキ】

【Nコード】

N2046Y

【作者名】

たかむら伊織

【あらすじ】

pixivと同時投稿です。

（前書き）

【うた腐り】夜明け前【レントキ】

作風をですね、変えてみたいなあなんてですね……。

いや、もう何も言うまい……。ホントすみません（号泣
あ、ごめんなさい、一言だけ。

「これ、レントキです」orz

自分に足りないその何か。

自分に存在する空洞。

それを埋めてくれるものを。

それを満たしてくれるものを。

探すのをやめてしまったのはいつの頃だろう。

それは手に入らないもの。

それは手の届かないもの。

そう思って諦めてしまったのはいつだったろう。

人と距離を置き。

物に頼らず。

ただ、ひとりで。

たったひとりで。

生きていくんだと。

生きていくしかないんだと。

それが自分の道なんだと。

そう思って生きてきた。

そう信じて生きてきたのに。

それなのに。

どうしても手に入れたと思うものが。

どうしても触れたいと思うものが。

どうしても自分のものにしたいと思うものが。

自分の前にあらわれるなんて。

どうして想像ができただろう。

夜が明ける寸前の空の色。

なぜか悲しくなるその色の髪。

そして同じ色をしたその瞳。

凜として前を向き。

誰とも馴れ合おうとせず。

それでも誰かに救って欲しいと。

どうかこの暗闇から抜け出したいと。

背中で叫んでいるその姿。

必死に叫んでいるその姿。

そこに自分を見たとしても。

そこに自分を見たんだとしても。

それでもどうしても手放したくないその姿。

傷の舐めあいと言われようと。

似たもの同士と言われようと。

これだけは手放したくないと思えるものを。

これだけはどうしてもと思えるものを。

自分の中に取り込みたくて。

自分のものにしてしまいたくて。

壊れないように。

消えないように。

逃げないように。

優しくそつと手を伸ばし。

優しくそつと抱きしめて。

自分が自分に帰れることを。

戻って生まれ変われることを。

互いに変わっていけることを。

祈って静かにくちづける。

「…どうしたんですか？」

「いや、なんでもないさ。寝直そつ」

二人の未来が明るいうちに。

明るい光で満ちてるように。

そんな夢を見られるように。

二人はそつと目を閉じた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2046y/>

【うた腐り】夜明け前【レントキ】

2011年11月4日03時05分発行